

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1

**【提出先】** 関東財務局長

**【提出日】** 2019年11月6日

**【四半期会計期間】** 第87期第2四半期(自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)

**【会社名】** 塩水港精糖株式会社

**【英訳名】** Ensuiiko Sugar Refining Co., Ltd.

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 丸 山 弘 行

**【本店の所在の場所】** 東京都中央区日本橋堀留町二丁目9番6号

**【電話番号】** 東京(03)3249-2381(代表)

**【事務連絡者氏名】** 常務取締役 常 見 典 正

**【最寄りの連絡場所】** 東京都中央区日本橋堀留町二丁目9番6号

**【電話番号】** 東京(03)3249-2381(代表)

**【事務連絡者氏名】** 常務取締役 常 見 典 正

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第86期 第2四半期 連結累計期間	第87期 第2四半期 連結累計期間	第86期
会計期間	自 2018年4月1日 至 2018年9月30日	自 2019年4月1日 至 2019年9月30日	自 2018年4月1日 至 2019年3月31日
売上高 (百万円)	13,048	12,766	26,002
経常利益 (百万円)	694	554	1,090
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (百万円)	481	365	840
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	540	303	639
純資産額 (百万円)	8,711	8,951	8,810
総資産額 (百万円)	24,830	23,577	24,490
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	17.76	13.48	31.00
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	35.1	38.0	36.0
営業活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	873	276	1,959
投資活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	284	307	554
財務活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	695	352	1,523
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (百万円)	1,679	1,281	1,667

回次	第86期 第2四半期 連結会計期間	第87期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 2018年7月1日 至 2018年9月30日	自 2019年7月1日 至 2019年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	1.04	1.56

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

なお、当社の連結子会社である株式会社おかげさま. は、2019年10月1日付で株式会社パルフーズに商号変更しております。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。

また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて、重要な変更はありません。

### 2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

#### (1) 財政状態及び経営成績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、好調な企業収益や政府の各種経済政策の効果により、雇用・所得環境の改善が続き、緩やかな回復基調が持続しましたが、通商問題を巡る緊張の増大が世界経済に与える影響や中国経済の先行きに引き続き留意する必要があります。

このような状況の中、当社グループはお客様のおなかの健康に貢献する「おなかにやさしい会社」を目標に、砂糖事業及びバイオ事業の計画達成に向けて全力で取り組んで参りました結果、経営成績は以下のとおりとなりました。

#### 砂糖事業

海外原糖市況は、ニューヨーク市場粗糖先物相場（当限、1ポンド当たり）において12.53セントで始まり、5月以降は主要生産国インドやタイの収穫が順調であると報じられ、現物の余剰感から9月中旬に10.68セントの安値を付けました。その後は北半球における需給の引締りが意識されると投機筋の買い戻しによって急反発となり、当期を11.92セントで終了しました。

国内市中価格（日本経済新聞掲載、上白糖大袋1kg当たり）は、期初187円～188円で始まり、同水準のまま当期を終了しました。

精糖及びその他糖類の国内販売は、業務用製品は度重なる自然災害や週末の天候にも恵まれず、飲料向けユーザーを中心に低調に推移しました。このような中、家庭用製品は前年を上回る結果となりましたが、業務用製品の販売減をカバー出来ず、売上高は前年を下回りました。

以上の結果、当期における砂糖事業全体の売上高は11,834百万円（前年同期比2.2%減）、セグメント利益は999百万円（前年同期比1.6%減）となりました。

#### バイオ事業

オリゴ糖部門は、当社の代表製品である「オリゴのおかげ」シリーズ商品の拡販に向けて各種媒体の積極活用に加え、試食販売の広域展開やマストバイキャンペーンの活用等あらゆる施策により消費者の皆様へ、より直接的な販売促進活動を行ってまいりました。この結果、オリゴ糖部門全体では減収増益となりました。

サイクロデキストリン部門は、サイクロデキストリンを使用した二次加工品の拡販とユーザー依頼の受託加工製造に積極的に取り組んだ結果、サイクロデキストリン部門全体では減収増益となりました。

以上の結果、当期におけるバイオ事業全体の売上高は908百万円（前年同期比1.5%減）、セグメント利益は175百万円（前年同期比11.0%増）となりました。

#### その他

その他の事業につきましては、ニューE S Rビル事務所の一部賃貸等を行い、所有不動産の活用に努めました結果、売上高は67百万円（前年同期比1.3%増）、セグメント利益は31百万円（前年同期比0.7%減）となりました。

以上の結果、当期の売上高は12,766百万円（前年同期比2.2%減）、営業利益は593百万円（前年同期比7.2%減）、経常利益は554百万円（前年同期比20.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は365百万円（前年同期比24.1%減）となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末と比べて385百万円減少し、1,281百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、276百万円（前年同四半期は873百万円の収入）となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益554百万円、減価償却費335百万円等による資金の増加があった一方で、法人税等の支払額237百万円等による資金の減少があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果支出した資金は、307百万円（前年同四半期は284百万円の資金支出）となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出269百万円、無形固定資産の取得による支出16百万円等による資金の減少があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果支出した資金は、352百万円（前年同四半期は695百万円の資金支出）となりました。

これは、配当金の支払162百万円、借入金の純減少額190百万円による資金の減少があったことによるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業上及び財務上の対応すべき課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の総額は、53百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	80,000,000
計	80,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (2019年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (2019年11月6日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	35,000,000	35,000,000	東京証券取引所 (市場第一部)	完全議決権株式であり、権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式 単元株式数は100株
計	35,000,000	35,000,000		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

###### 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
2019年7月1日～ 2019年9月30日		35,000		1,750		345

(5) 【大株主の状況】

2019年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 (自己株式を 除く。)の 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
三菱商事株式会社	東京都千代田区丸の内2丁目3-1	3,990	14.72
株式会社みずほ銀行	東京都千代田区大手町1丁目5-5	1,353	4.99
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	東京都港区浜松町2丁目11-3	950	3.51
CREDIT SUISSE (LUXEMBOURG) S.A. / CUSTOMER ASSETS, FUNDS UCITS (常任代理人 株式会社三菱UFJ銀行)	56, GRAND RUE L-1660 LUXEMBOURG (東京都千代田区丸の内2丁目7-1)	800	2.95
三菱UFJ信託銀行株式会社	東京都千代田区丸の内1丁目4-5	603	2.22
株式会社榎本武平商店	東京都江東区新大橋2丁目5-2	550	2.03
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	東京都中央区晴海1丁目8-11	528	1.95
大東通商株式会社	東京都新宿区市谷台町6-3	500	1.84
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	東京都中央区晴海1丁目8-11	486	1.80
東京海上日動火災保険株式会社	東京都千代田区丸の内1丁目2-1	340	1.25
計		10,102	37.27

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2019年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 7,890,600		権利内容に何ら限定のない 当社における標準となる株式
完全議決権株式(その他)	普通株式 27,103,900	271,039	同上
単元未満株式	普通株式 5,500		同上
発行済株式総数	35,000,000		
総株主の議決権		271,039	

- (注) 1 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が29,000株含まれております。  
また「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数290個が含まれております。  
2 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式55株が含まれております。

【自己株式等】

2019年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 塩水港精糖株式会社	東京都中央区日本橋 堀留町2丁目9-6	7,890,600		7,890,600	22.54
計		7,890,600		7,890,600	22.54

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（2019年7月1日から2019年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、監査法人日本橋事務所による四半期レビューを受けております。

## 1 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,667	1,281
受取手形及び売掛金	1,923	1,505
商品及び製品	1,102	1,206
仕掛品	303	193
原材料及び貯蔵品	856	905
その他	1,041	1,087
流動資産合計	6,894	6,180
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,042	10,062
減価償却累計額	6,660	6,791
建物及び構築物(純額)	3,381	3,270
機械装置及び運搬具	11,554	11,599
減価償却累計額	9,668	9,785
機械装置及び運搬具(純額)	1,885	1,814
工具、器具及び備品	474	489
減価償却累計額	400	407
工具、器具及び備品(純額)	74	82
土地	5,234	5,234
建設仮勘定	7	70
有形固定資産合計	10,583	10,471
無形固定資産		
ソフトウェア	101	102
その他	6	6
無形固定資産合計	108	108
投資その他の資産		
投資有価証券	4,801	4,644
長期貸付金	1,199	1,246
繰延税金資産	829	832
その他	73	91
投資その他の資産合計	6,904	6,815
固定資産合計	17,595	17,396
資産合計	24,490	23,577



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,044	485
短期借入金	5,200	3,300
1年内返済予定の長期借入金	1,330	1,314
未払法人税等	249	179
未払消費税等	188	128
賞与引当金	77	79
その他	1,127	1,007
流動負債合計	9,218	6,495
固定負債		
長期借入金	5,490	7,216
退職給付に係る負債	637	585
繰延税金負債	18	16
その他	314	312
固定負債合計	6,460	8,129
負債合計	15,679	14,625
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,750	1,750
資本剰余金	241	241
利益剰余金	10,391	10,594
自己株式	3,021	3,021
株主資本合計	9,361	9,564
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	574	633
繰延ヘッジ損益	0	3
退職給付に係る調整累計額	22	16
その他の包括利益累計額合計	551	612
純資産合計	8,810	8,951
負債純資産合計	24,490	23,577

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	13,048	12,766
売上原価	10,473	10,179
売上総利益	2,575	2,586
販売費及び一般管理費	1 1,936	1 1,993
営業利益	639	593
営業外収益		
受取利息	13	13
受取配当金	59	59
持分法による投資利益	30	-
その他	4	5
営業外収益合計	107	77
営業外費用		
支払利息	48	40
持分法による投資損失	-	57
支払手数料	2	12
その他	1	5
営業外費用合計	52	116
経常利益	694	554
税金等調整前四半期純利益	694	554
法人税、住民税及び事業税	198	169
法人税等調整額	14	20
法人税等合計	212	189
四半期純利益	481	365
親会社株主に帰属する四半期純利益	481	365

## 【四半期連結包括利益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益	481	365
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	56	56
繰延ヘッジ損益	0	3
退職給付に係る調整額	0	6
持分法適用会社に対する持分相当額	1	2
その他の包括利益合計	58	61
四半期包括利益	540	303
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	540	303

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	694	554
減価償却費	332	335
退職給付に係る負債の増減額 ( は減少 )	44	60
賞与引当金の増減額 ( は減少 )	1	2
受取利息及び受取配当金	72	72
支払利息	48	40
為替差損益 ( は益 )	2	0
持分法による投資損益 ( は益 )	30	57
売上債権の増減額 ( は増加 )	215	418
たな卸資産の増減額 ( は増加 )	248	44
仕入債務の増減額 ( は減少 )	83	558
その他	39	191
小計	1,016	481
利息及び配当金の受取額	73	73
利息の支払額	48	41
法人税等の支払額	167	237
営業活動によるキャッシュ・フロー	873	276
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	299	269
無形固定資産の取得による支出	5	16
貸付けによる支出	410	480
貸付金の回収による収入	431	458
その他	0	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	284	307
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 ( は減少 )	200	1,900
長期借入れによる収入	-	2,450
長期借入金の返済による支出	760	740
自己株式の取得による支出	0	0
配当金の支払額	135	162
財務活動によるキャッシュ・フロー	695	352
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	0
現金及び現金同等物の増減額 ( は減少 )	104	385
現金及び現金同等物の期首残高	1,784	1,667
現金及び現金同等物の四半期末残高	1, 1,679	1, 1,281

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 偶発債務

連結会社以外の会社の金融機関等からの借入に対して、債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (2019年3月31日)		当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
太平洋製糖(株)	387百万円	太平洋製糖(株)	362百万円

(四半期連結損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
製品保管輸送費	448百万円	470百万円
販売促進奨励金	355百万円	348百万円
給料手当賞与金	259百万円	267百万円
賞与引当金繰入額	61百万円	62百万円
退職給付費用	21百万円	14百万円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
現金及び預金	1,679百万円	1,281百万円
現金及び現金同等物	1,679百万円	1,281百万円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年6月28日 定時株主総会	普通株式	135	5.00	2018年3月31日	2018年6月29日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年6月27日 定時株主総会	普通株式	162	6.00	2019年3月31日	2019年6月28日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	砂糖事業	バイオ事業	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	12,091	900	57	13,048	-	13,048
セグメント間の内部売上高 又は振替高	11	22	9	43	43	-
計	12,103	922	66	13,092	43	13,048
セグメント利益	1,015	158	32	1,206	567	639

(注) 1 セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	砂糖事業	バイオ事業	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	11,825	883	56	12,766	-	12,766
セグメント間の内部売上高 又は振替高	8	24	10	44	44	-
計	11,834	908	67	12,810	44	12,766
セグメント利益	999	175	31	1,207	614	593

(注) 1 セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	17円76銭	13円48銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する 四半期純利益金額(百万円)	481	365
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額(百万円)	481	365
普通株式の期中平均株式数(株)	27,109,353	27,109,348

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。



## 独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年11月6日

塩水港精糖株式会社  
取締役会 御中

### 監査法人日本橋事務所

指定社員 業務執行社員	公認会計士	小 倉	明 印
指定社員 業務執行社員	公認会計士	吉 岡	智 浩 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている塩水港精糖株式会社の2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(2019年7月1日から2019年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、塩水港精糖株式会社及び連結子会社の2019年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- 
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。  
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。